

ビジョンのシステム制御技術への適用協同研究委員会 解散報告書

システム・制御技術委員会

1. 解散の趣旨および活動報告

標記協同研究委員会（委員長：山口順一@香川大学）は、画像情報を用いたシステム制御技術を支えるために重要なビジョン技術について、現状の問題点の抽出と課題の設定および解決策について深く議論し、高安定で広範囲に適用可能な画像処理技術について協同研究を行うことを目的として、2007年11月に設置された。

2009年10月までの2年間において、7回の委員会、1回の部門大会企画セッションおよび1回の研究会を開催し、以下の調査活動を行った。

- ①ビジョンを取り巻く課題
- ②快適な生活空間のための技術
- ③産業におけるビジョン
- ④社会ニーズに応じたビジョン技術の展開
- ⑤画像情報の統合と3次元システム

これらにより、ビジョンのシステム制御技術への適用における現状の問題点や今後の課題等が明確となり、本協同研究委員会設置の目的が達成されたので解散する。

2. 成果報告の形態

成果報告の形態として、「問題抽出」「解決・展望」のそれぞれを、

*研究会での発表

*全国大会・部門大会シンポジウムでの発表

とした。

3. 成果報告について

(1)課題抽出：システム・制御研究会，平20.10.23，テーマ：「システム・制御のためのパターン認識・メディア理解」，協同研究会委員による発表16件（電子情報通信学会PRMUと合同研究会・発表合計22件）

(2)解決・展望：平成21年C部門大会，平21.9.3，テーマ：「システム制御へのビジョン適用」，TC6，協同研究会委員による発表6件

4. 今後の問題点

本協同研究委員会で得られた知見と課題を基に、引き続き、ビジョンによるシステム制御を広範囲に安定して適用するための技術に関する調査活動を深めることが重要である。なお、その際、多方面からの委員の参画が望まれる。